

農業を担う人材の 確保・育成について



農林水産省

経営局 就農・女性課

農林水産省
就農のページは
こちら



20代の2人に1人が就農を検討!

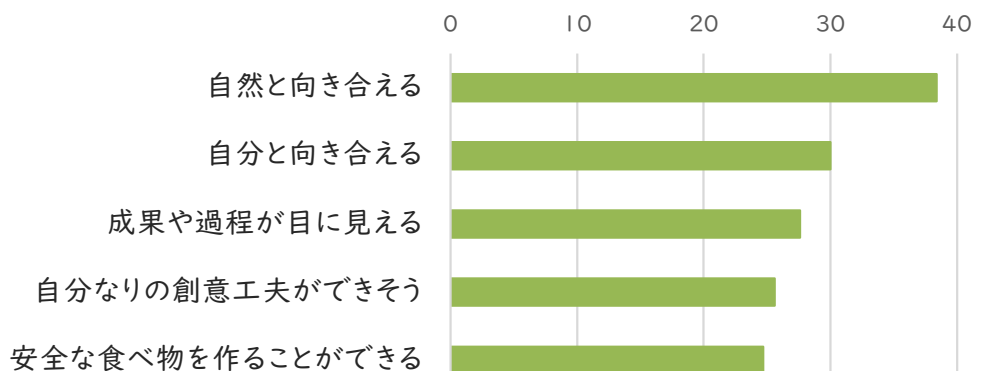


JA共済連が行った調査では、

- 20代の52.1%が「**将来、農業をやってみたい**」(調査対象:全国の20代男女10,000人)
- **将来農業をやってみたい20代の56%が「就農に備えて準備を始めている」**
(調査対象:将来農業をやってみたい20代男女700人)
と回答。

JA共済連「2024年度 20代の農業に関する意識と実態調査」

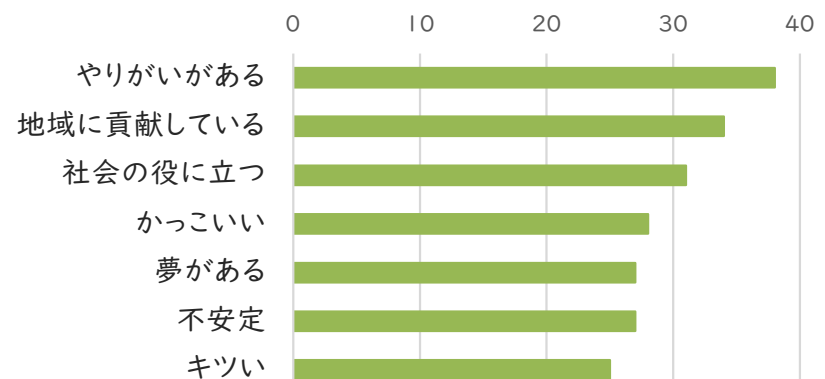
農業の魅力は?(複数回答) (%)



JA共済連「2024年度 20代の農業に関する意識と実態調査」

将来、農業をやってみたい20代が考える農業の魅力は、「**自然と向き合える**」「**自分と向き合える**」「**成果や過程が目に見える**」が上位に。

農業についてどのように考えますか?(複数回答) (%)



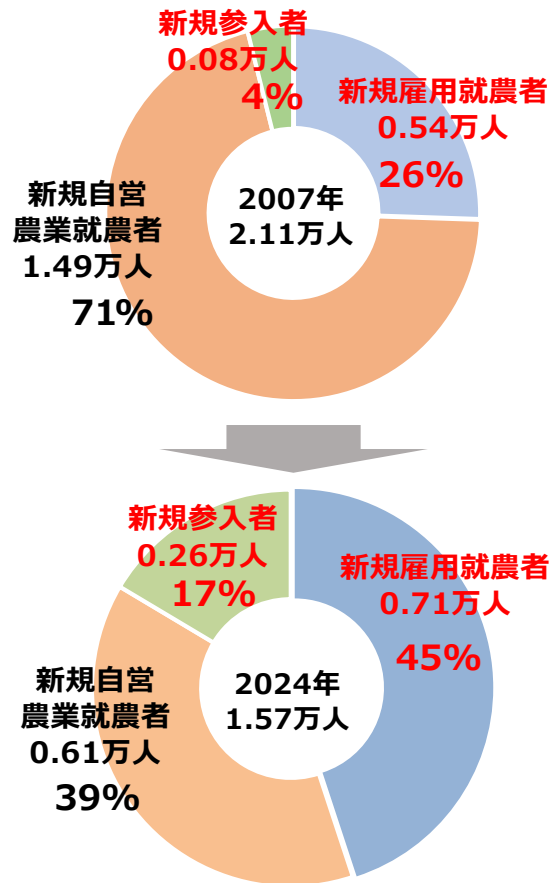
JA共済連「2023年度 農業に関する意識と実態調査」

農業に5年以上従事している者(100人)への調査では、「**やりがいがある**」「**社会の役に立つ**」「**夢がある**」(3Y)が上位に。

新規就農者数の推移

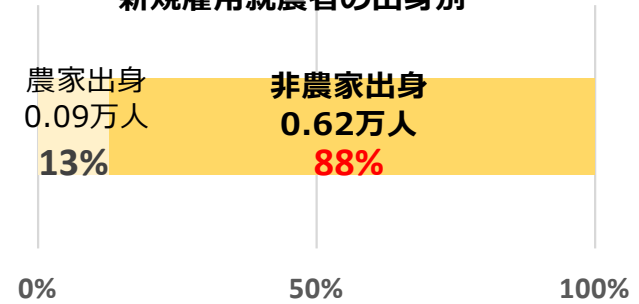
- 49歳以下の新規就農者の状況を見ると、家族の農業を引き継いで就農する者（新規自営就農者）が減少。
- 一方、農業法人等に雇われる形で就農する者（雇用就農者）や、土地や資金を独自に調達して経営者として就農する者（新規参入者）が増加。
- 特に、49歳以下の新規雇用就農者の約9割が非農家出身での就業となっている。

49歳以下の新規就農者の内訳



資料：農林水産省「新規就農者調査」

49歳以下の新規雇用就農者の出身別



資料：農林水産省「新規就農者調査」
四捨五入の関係で、合計値と内訳の計は一致しない場合がある。

道府県立農業大学校（養成課程）からの就農状況（2024年）

就農者数	就農率	就農者のうち雇用就農者割合
834人	48%	62%

資料：全国農業大学校協議会
「全国農業大学校等の概要」
※静岡県立森林環境専門職大学の短期大学部を含む。

新規就農施策の全体像

「農業」
の発見



就農
検討



就農
準備



就農
開始



経営
発展



農業の魅力発信支援事業

職業としての農業の魅力発信の取組を支援

農業人材確保推進事業

新規就農相談・情報発信、就農相談会の開催等を支援

独立自営就農者への支援

資金面の支援

就農準備資金

研修期間中、**年間最大165万円**を交付（最長2年間）

経営開始資金

新たに経営を開始する者に対して**年間最大165万円**を交付（最長3年間）

機械導入等の支援

経営発展支援事業

新規就農者(49歳以下)の機械・施設の導入等を都道府県と連携して支援

- ・国費上限：最大600万円
- ・補助率：都道府県支援分の2倍を国が支援（国1/2、都道府県1/4）

新規就農者チャレンジ事業

農業構造転換集中対策として、新規就農者(64歳以下)に機械・施設の導入等を支援

- ・国費上限：個人1,500万円、法人3,000万円
- ・補助率：3/10

青年等就農資金

無利子資金により、機械・施設等の取得、営農資金を支援



雇用就農の促進 (農業法人等への支援)

雇用就農資金

- ・正規雇用に向けた**トライアル雇用就農**の実施のための**マッチング経費等**を支援
- ・就農希望者を新たに**正規雇用**する農業法人等に対して、**年間最大60万円**を交付（最長4年間）

雇用体制強化事業

- ・就労条件改善による**従業員の働きやすさ**を高める取組を支援
- ・他産地・他産業との連携等による**労働力確保**の取組を推進

受入体制支援

農地の受け手確保に向けた**新規就農者誘致環境整備事業**

地域計画の策定により明らかになった受け手のいない農地に**新規就農者を誘致**するための

- ・体制整備
 - ・研修農場の整備
 - ・就農前後の方に対する**トータルサポート活動**
 - ・農地の整備等
- を一体的に支援

スマート農業研修教育環境整備事業

農業構造転換集中対策として、**スマート農業技術を実践的に学べる研修農場の整備**、**農業大学校等の農業教育機関におけるスマート農業機械の導入やICT環境の整備**、**現役農業者向けのスマート農業のリ・スキリング等**を支援

教育支援

農業教育高度化事業等

農業大学校や農業高校等における農業教育の高度化・充実に必要な

- ・カリキュラム強化
- ・研修用機械・設備の導入
- ・施設の整備
- ・現場実習や出前授業
- ・就農コーディネーターの設置

等を支援

まずは体験してみよう① 1日・1時間単位で参加できる農業バイト

- 農業でも、生産者と求職者をマッチングする労働力募集アプリの活用が進展。
- 1日・1時間単位から農作業でき、**学生など若い世代の利用が多い。**
- 利用者のうち、46%が農作業の未経験者であり、「まずは体験してみたい」というニーズにもマッチ。

労働力募集アプリの事例

デイワークの仕組み
資料：とかちアグリワーク



<https://day.work/>



農Howの仕組み
資料：株式会社アグリトリオ

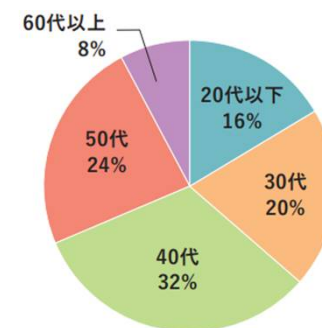


<https://agritrio.co.jp/nouhow.html>

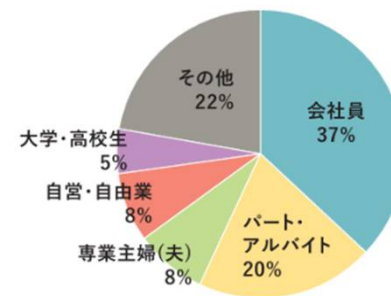


利用者の特徴

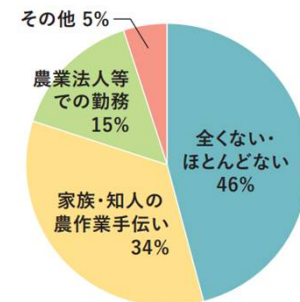
年齢



職業



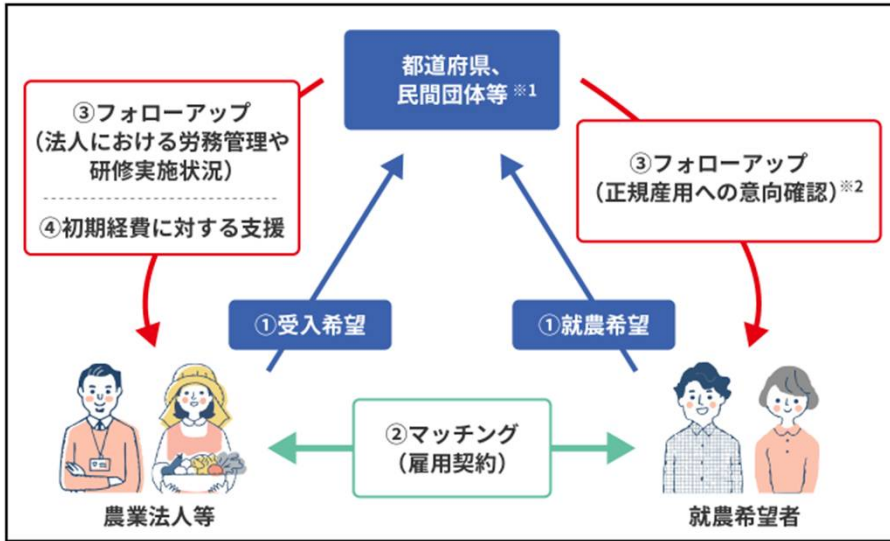
農作業経験



まずは体験してみよう② 3か月程度のトライアル雇用就農

- 本格的な就農前に適正を知るために、3か月程度のお試し就農ができる仕組み。
- 実際に体験した方からは、「チャレンジがしやすかった。農業は自分に向いていて、面白い。」との声。

【トライアル雇用就農促進事業】



※1 事業内容として、職業紹介事業に該当する取組が含まれるため、職業紹介事業の許可を受けた機関と協力し、職業安定法等の関係法令を遵守の上、事業を実施すること。

※2 必要に応じて、他の経営体へ紹介することも可能。

トライアル雇用就農

検索

お試し就農

検索

【事業活用者の声：株式会社スーパ（宮崎県）の取組】



農業法人「六車農園」専務取締役・六車隆弘さんに伺いました

Q. トライアル人材を受け入れてみていかがですか。

A. トライアル期間があることで、働く側にとっても挑戦しやすいと思います。また、私たち受け入れ側としても、人柄や仕事ぶりを見ることができます。弊社では60名ほどの従業員が働いていますが、どの部門でもまずは一緒に働いてみて、現場の空気を知ることが大切です。

今回来てくれた日野さんは、トライアル期間が終わった後もそのまま継続して働いてくれています。本当によく頑張ってくれて、いい人材に出会えたと思っています。



就農者、日野勝貴さんに伺いました



Q. 「トライアル雇用就農促進事業」はどのように知りましたか？

A. インターネットで農業の求人を探していたときに知りました。いきなり就職するのではなく、まず働いてから自分に合うか判断できる仕組みだったので、チャレンジしやすいと思って応募しました。3カ月という期間は、仕事の基本を覚えたり、職場にもなじむちょうどいい期間だと思います。

Q. 実際に農業の現場で働いてみていかがですか？

A. 農業の仕事は自分に向いていて、思っていた以上に面白いと感じています。

最初は体力面が少し不安でしたが、もともと体を動かすのが好きなので、すぐに慣れました。

季節によって作業内容は変わりますが、今は白菜の収穫や畑のうねたて、肥料まきなどを先輩に教えてもらいながら学んでいるところです。まだまだ覚えることはたくさんありますが、自分たちがここで育てた白菜が有名メーカーの漬物になると聞いて、「すごいな～」とやる気も出ます。

直近の目標はフォークリフトの免許を取ることです。六車農園の畑は広々として気持ちが良く、毎日すごく充実しています。農業は本当に楽しいです！

就農情報ポータルサイト「農業をはじめる.JP」

農業に興味を持たれた方や、これから農業を始めたい方が、農業を知り、就農に向けて具体的な行動を起こしていくために必要となる情報を一元的に閲覧できる就農情報のポータルサイトを開設。

※ 農林水産省補助事業（農業人材確保推進事業）として、全国新規就農相談センターが運営。



就農に向けた段階に応じて必要となる情報を網羅

就農を知る

- ・農業って、どんな仕事？
- ・就農適性診断
- ・先輩農業者の就農ストーリー
- ・支援が充実している地域の紹介

研修・学ぶ

- ・農業が学べる教育研修機関（農大、農業専門学校等）
- ・自治体やJA等の研修情報
- ・民間企業等が開催する農業研修情報

体験する

- ・農泊
- ・自治体や民間企業等の農業体験情報

求人情報

- ・新規就農相談センター求人DB
- ・ハローワークインターネットサービス
- ・JAや民間企業等の農業求人サイト

相談する

- ・全国新規就農相談センター
- ・各都道府県にある就農相談窓口の紹介（JA・都道府県）
- ・自治体等が開催する就農相談会情報

支援情報

- ・都道府県・市町村の就農支援DB
- ・JAグループの新規就農支援
- ・農地・空き家を探す
- ・移住支援（「いいかも地方暮らし」等）

NEWS

就農希望者向け	
2025.05.19	相談する 山梨県 やまなし移住相談会in東京において就農相談を行います（6月15日(日)）
2025.05.16	研修/学ぶ 東京都 【残席僅か！お申込みお早めに】5/31土曜日★東京での就農を本気で考えるツアー
2025.05.16	相談する 長野県 5/31（土）開催 長野県新規就農セミナー＆就農相談会in銀座NAGANO（★上田市、喬木村とコラボ）のお知らせ
2025.05.16	相談する 北海道 北海道DE新規就農・農業体験・法人就職の個別相談やってまーす！
2025.05.15	研修/学ぶ 千葉県 千葉県就農・移住セミナー＆個別相談会「ちよーどいい！千葉での就農！」の開催について



<https://www.be-farmer.jp/>

農林水産省だけでなく、関係省庁や自治体、JAグループ等が行っている支援やサービスも並列で紹介するとともに、自治体やJA、民間企業等が実施する農業体験や就農相談会等に関する情報をニュースとして掲載。

農業の魅力発信

- 現場で活躍する農業者との接点を通じ、大学農学部の子学生等の農業関心層が「職業としての農業の魅力」を知る機会を創るために、民間企業が結成した「農業の魅力発信コンソーシアム」が行う講義等の取組を支援。

農業を、憧れの職業に。



私たち「農業の魅力発信コンソーシアム」は、農林水産省の補助事業を活用して全国の素敵な農業者たちと一緒に「職業としての農業の魅力」を発信します。



コンソーシアムの主な活動

- ① 若者等にとって憧れや目標となる「ロールモデル農業者」をリストアップ
- ② 若者等が「職業としての農業の魅力」を知る機会となるSNS等による情報発信
- ③ 「ロールモデル農業者」による講義等の実施

活動の詳細については、
公式サイトにて情報発信。



農業の魅力発信コンソーシアム
公式WEBサイト



ロールモデル農業者の紹介



生產品目：コシヒカリ、ミルクークイーン、ひとめぼれ、国産スペイン米等



生產品目：牛用の稲発酵粗飼料、牧草「イタリアングラス」、ブロッコリー等



生產品目：完熟イチゴ「さがほのか」「恋みのり」



生產品目：米（コシヒカリ、松山三井、ミルクークイーン、にこまる、ひめの凜）等



生產品目：野菜（白いうもろこし、自然薯、ニンジン、レタス、ハーブ類等 200種類



生產品目：野菜（九条ねぎ、白とうもろこし、イチゴ、レモン、枝豆）

農業の魅力発信コンソーシアム
公式アカウント



その他、総勢170名の
ロールモデル農業者を中心に情報発信。

農林水産省からの情報発信

BUZZMAFF

農林水産省職員自らが、省公式YouTubeチャンネルでYoutuberとなるなど、担当業務にとらわれず、その人ならではのスキルや個性を活かして、我が国の農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力を発信するプロジェクト。(登録者数19万人)。



日本の農林水産業を世界へ



推しは、農山漁村です！我らが推しの魅力を、どしどしお届けします！



日常生活をお花で彩ろう！お花の魅力を“花”やかにご紹介します！



水産業界を盛り上げるために全力でPRします！

aff

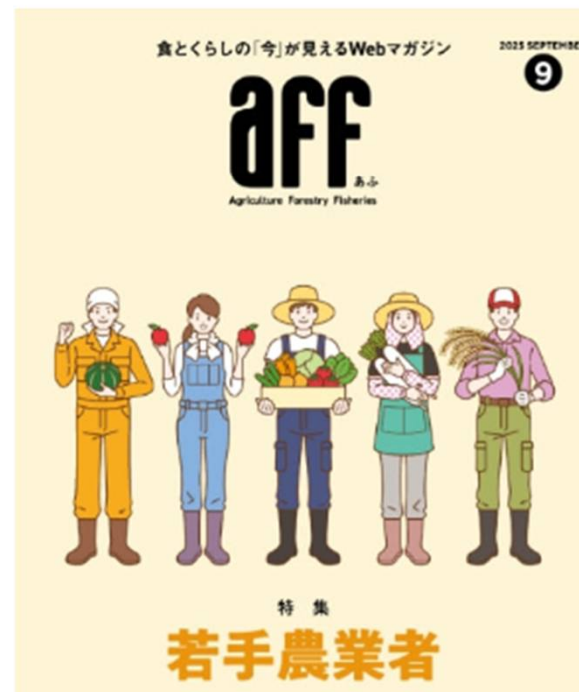
消費者の皆さん、農林水産業関係者、そして農林水産省を結ぶWebマガジンです。施策の現場のリポートやインタビューのほか、暮らしに役立つ情報も満載し、農林水産業における先駆的な取組や、農山漁村の魅力、食卓や消費の現状などをビジュアルで分かりやすくお伝えします。



若手農業者を取りまく環境



職業にしてわかった、農業の魅力



農家として取り組む情報発信



若手農業者もつながり広がる協同組合

「農業女子プロジェクト」について ～概要～

趣旨

「農業女子プロジェクト」(2013年設立)は、農業内外の多様な企業・教育機関等と連携して、農業女子の知恵を生かした新たな商品・サービスの開発、未来の農業女子をはぐくむ活動、情報発信等を行い、社会全体での女性農業者の存在感を高め、女性農業者自らの意識の改革、経営力発展を促し、職業としての農業を選択する若手女性の増加を図ります。農業女子同士のネットワークづくりにも取り組んでいます。

参加メンバーデータ

(2026年4月30日現在)

農業女子メンバー

パートナー
(企業・団体)

はぐくみ隊
(教育機関、部活・サークル等)

全国 1,123名

43社

10団体

具体的な取組

企業プロジェクト

企業と農業女子プロジェクトメンバーが協同で新たな商品やサービスの開発等を行い、女性農業者の活躍や魅力を発信
(それぞれの企業活動の一環として推進)

チーム“はぐくみ”

高校・大学等の教育機関(部活・サークル等含む)と活躍する魅力ある農業女子メンバーが連携し、農業を志す学生の発掘や動機づけ、意識の向上のための取組を実施

SDGs活動の発信

“農業者のわたしたちにできる5つのこと”として農業女子メンバーのSDGs活動を発信

NEXTラボ

メンバーの関心の高いテーマについて勉強会等を実施

SNSやイベント等を活用した
女性農業者の魅力発信

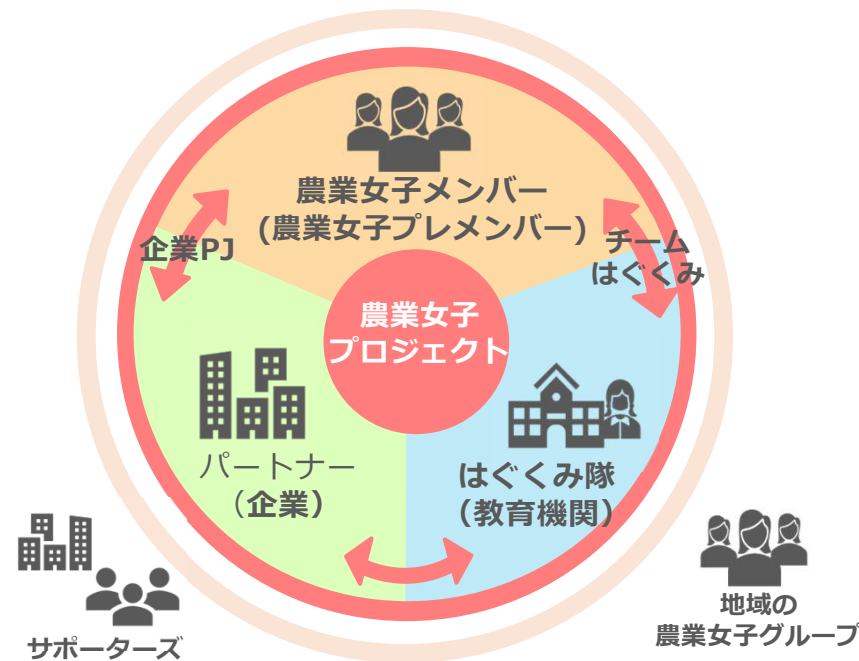


プロジェクトの目的

社会、農業界での
女性農業者の
存在感を高める

女性農業者自らの
意識の改革、
経営力の発展

若い女性の職業の
選択肢に
「農業」を加える



第13期 農業女子プロジェクトの活動方針

(2025年11月～2026年10月)

1. 農業女子プロジェクトのネットワークを活かした学びの提供
2. パートナーズによるプロジェクトの多様な展開
3. 「農」の魅力を発信



【はぐくみ校】

桜美林大学

農業女子メンバーによるセミナー開催。
農業の魅力発信を研究。



近畿大学

卒業生である農業女子メンバーが母校で講演、母校の学園祭マルシェに参加。農業女子メンバーの農場でインターンシップを実施。



佐賀大学

『さが農業女子「カチカチ農楽が〜る』メンバーによる招待講義を実施。



東京家政大学

農業女子メンバーの農場でインターンシップを実施。



東京農業大学

農業女子メンバーの農場でインターンシップを実施。



羽田国際高等学校

WAP

～Wings Agriculture Project～
農業×PBL型授業の実施。
令和6年度より、
蒲田女子高等学校から
校名変更



南九州大学

農産物の播種、栽培、PR、食卓に並ぶまでを考え、宮崎県の農業女子PJメンバー、女性農業者グループと活動、イベント等で販売。



宮城大学

学生に対し、参画企業や農業女子メンバーと連携したセミナーや農場訪問を実施。小中学生への食農教育の実践を通じて、学生自身の農業のイメージを具体化させる。



山形大学

農業女子メンバーと学生によるワークショップ。
農業女子プロジェクトメンバーによる講義。



【はぐくみ部】

東大めぐりえこん。

勉強会・イベント等を通じた農業女子メンバーと学生の交流と発信



はぐくみ部 第1号!

わたしたち「はぐくみ部」に参加しました!!
部活・サークル等の単位でも参加できます!



○はぐくみ隊

○はぐくみ校 (教育機関)

○はぐくみ部 (部活動・サークル等)

<はぐくみ隊募集中>

パートナーの活動や登録にご興味ある場合は、以下メールアドレスまでご連絡ください。

【農業女子プロジェクト事務局】Mail : team-jyosei@maff.go.jp

合計
10 団体
(9校・1部)

農業に興味がある学生さんへ①

- 新・農業人フェアは、「農業に、一步を踏み出そう。」をテーマに、日本全国の自治体、農業法人、農業研修機関が出展し、就農に関して相談ができます。また、農業現場で活躍する農業者の皆さんをお招きし、農業の魅力をお話しいただくセミナーも毎回開催しています。
- 農業に興味はあるけど、何から始めていいかわからない方、就農地が決まっていない方、農業への転職を考えている方に是非ご来場いただきたいイベントです。

就農相談会(新・農業人フェア)

新規就農ガイダンス、就農体験紹介、農業法人等の会社説明、自治体の就農支援情報の提供等を実施。

新・農業人フェア2026 開催日程

7/18 (土)	東京	東京交通会館	LIVE
9/13 (日)	大阪	グランキューブ大阪	EXPO
9/23 (水祝)	東京	東京国際フォーラム	EXPO
11/15 (日)	東京	東京ビッグサイト	EXPO
1/30 (土)	東京	歌舞伎座タワー	LIVE

EXPO 200以上団体が集まる総合的な相談会

LIVE 農業法人への就職に特化した相談会



Q.開催時間は?

→各回とも **10:00~16:00**です。

Q.入場料は?

→**入場は無料**です。また、途中入退場も可能です。

Q.来場登録は必要?

→来場にあたっては**公式HPから事前に登録が必要**です。

Q.どんなことが相談できる?

→各回とも、農業に興味がある方から、職業として農業を考えている方まで、出展者と対面で相談ができます。特に「**LIVE**」は、農業法人への就職をお考えの方が、出展の農業法人と**具体的な就職に向けた相談も可能**です。

公式HPはこちら→



<https://agri.mynavi.jp/shin-nogyojin/>

2025年度、東京・大阪で計5回開催!

入場者数は4,758人! 出展者数は800者!

農業に興味がある学生さんへ②

○就農に関する具体的な相談をしたい皆様に向けて、各都道府県の農業経営・就農支援センターでは、個別の相談窓口を設け、就農希望地など具体的な条件等について、対面、オンライン、メール、電話での相談を随時受け付けています。

○また、総務省と連携し、東京駅近くの移住・交流情報ガーデンにおいても、就農について専門の相談員が対応しています。

就農相談活動

全国及び各都道府県に設置する「新規就農相談センター」「農業経営・就農支援センター」や、就農情報サイト「農業をはじめの.JP」等において情報提供、就農相談を実施。



【お問い合わせ先】

全国新規就農相談センター
(一般社団法人全国農業会議所)

☎03-6910-1133

URL: <https://www.be-farmer.jp/consult/>



都道府県農業経営・就農支援センター

URL: <https://www.maff.go.jp/j/keiei/soudanjyo.html>



移住・交流情報ガーデン

総務省と連携

ワンストップ移住支援窓口として、地方(農村)への移住・交流についての一般的な相談や問い合わせに対応している。この他、就農情報について、専門の相談員が対応。



【開館時間】

(平日) 10:00-18:00

(土日祝) 10:00-18:00

休館日: 月曜(月曜が祝日の場合は火曜日)

年末年始(12/28~1/4)

GW(5/1~5/6の土日祝)

ロールモデル農業者と交流してみませんか？

○ 令和7年度から、大学農学部等の学生に対し、「若者にとって憧れや目標となるようなロールモデル農業者」との交流を通じて農業の魅力を発信し、学生の職業選択における新たな視点として農業を知る機会を創出しています。

～学生の皆さんへ～ 農業を職業の選択肢にしてみませんか？

1. 農業者等による講義



多様なキャリアを持つ農業者等が農業の魅力を伝えます！

2. フィールドワーク



希望により、農業者や大学の農場で、農業の実習ができます！

3. 学生の成果報告会



成果報告会で学生・学校同士の連携と農業に向けた意欲を高めます！

4. 農業者と学生の交流会



農業者と学生との双方向のコミュニケーションができます！

～大学のご担当者様へ～ 実施にあたりご協力いただきたいこと

1. 交流の機会創出



授業、ゼミや特別講義などの一環として、交流の機会のご提供をお願いします。

2. 交流場所のご提供



講義室(フィールドワークが可能な場合は農場等)の確保をお願いします。

3. 学生への周知



農学部の学生に限らず学内・他学部の農業に興味のある学生へ幅広く周知をお願いします。

4. 実施後のアンケート・進路調査

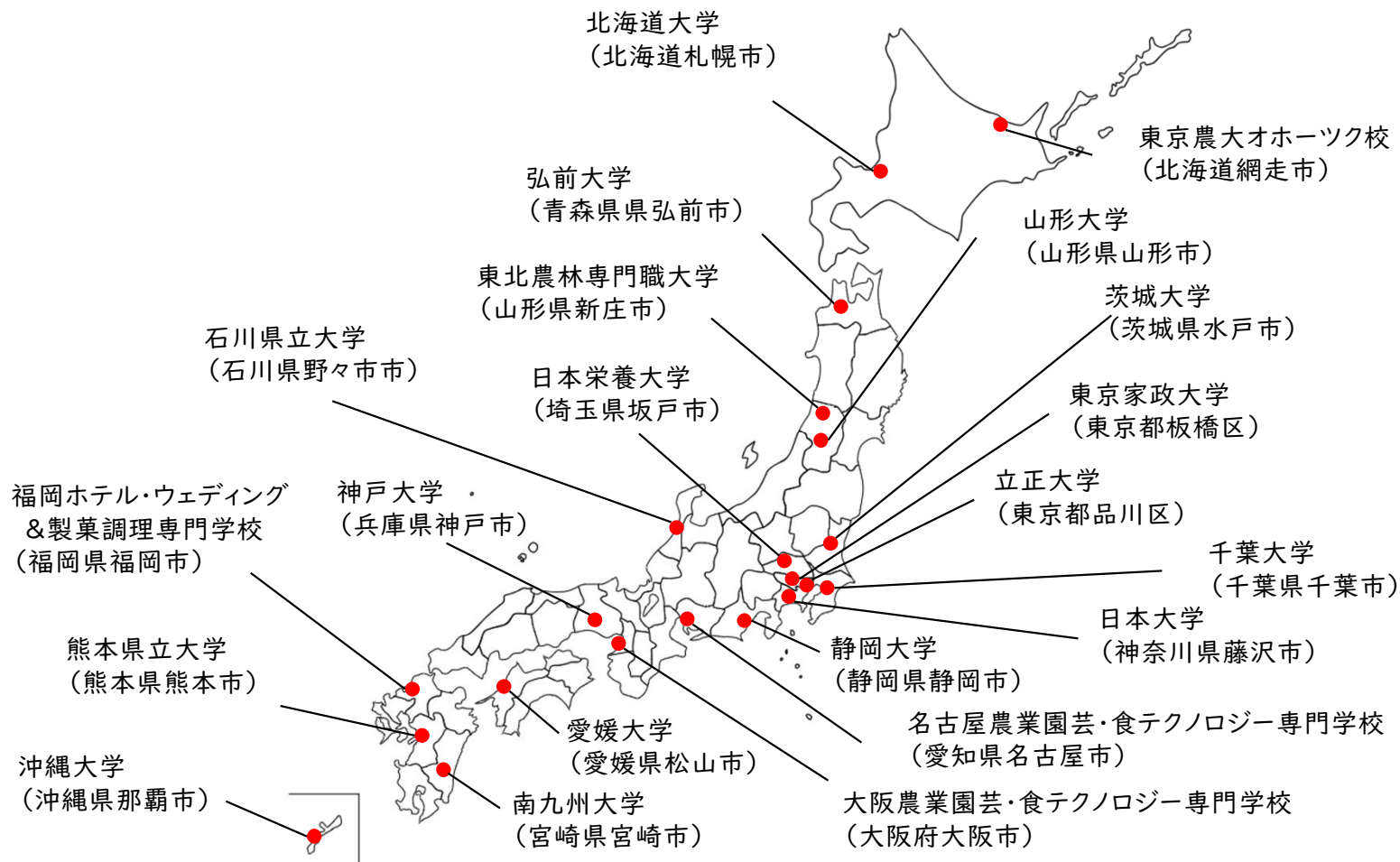


効果検証のため、アンケートや進路調査等のご協力をお願いします。

大学農学部等でのロールモデル農業者による講義等の実施予定校

令和8年度は、地方の主要大学を中心に全国21か所の大学農学部等において、ロールモデル農業者による講義やフィールドワーク等を実施予定です。

【実施予定校】



地域のロールモデルによる講義に加えて、農業会の現状等の情報提供やワークショップを組み合わせて実施。

令和7年度実績(14か所)

- ・岡山大学
- ・大阪農業園芸・食テクノロジー専門学校
- ・静岡大学
- ・信州大学
- ・神戸大学
- ・東京農業大学
- ・南九州大学
- ・新潟大学
- ・東海学園大学
- ・酪農学園大学
- ・岡山商科大学
- ・千葉大学
- ・山形大学
- ・東海大学

※記載の実施校は詳細調整中であり、今後変わることもあります。

ロールモデル農業者による出前授業の様子（令和7年4月 岡山大学での実施）

☆講演者：山田遼平さん

会社勤務を経て、2016年に岡山県北の新庄村へ移住。村役場に勤務する傍ら、ホップの栽培に取り組む。2024年7月からは、美作ビアワークスに参画し、アシスタントブルワーとして勤務するなど、様々な経歴を持つ。



講義では山田さんから、農家になることを決めるに至った経緯や、地域の原材料を活かした美味しいクラフトビールを製造すること、そのために質の高い原材料を生産すること等のお話をいただき、学生たちも熱心に聴講。

聴講した学生の声



- ・実際に農業をしている方のお話を聞いたのは大変貴重な機会だった。
- ・非農家出身から、移住もして本当に農家になった、その行動力に魅せられた。
- ・地域による特色にこだわりを持って生産・製造していることが素晴らしく、感動した。



御清聴ありがとうございました



ご質問等ございましたら、就農・女性課までご連絡をお願いいたします

(03-3501-1962)